



令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

今年の4月に小学6年生対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。その結果と分析から見えてきた、本校児童の特徴と課題についてお知らせいたします。

「教科に関する調査」の結果から

国語・算数・理科の3教科ともほとんどの設問で、全国・県の平均正答率を上回りました。特にどの教科でも自分の考えを書く【記述式】の問題で全国・県を大きく上回っており、問題の意図を理解して自分の考えを書く力が向上していることが伺えました。これは、授業や家庭学習で、意欲的にていねいな学びを積み重ねている成果です。全体的に大変良好な結果でしたが、課題も見つかりました。この点を意識して、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を感じる授業、新しい時代を「たくましく生きる力」を育む教育活動になるよう、全学年で取り組んでいきます。

国 語



特に正答率の高かった設問	特に正答率の低かった設問
◎漢字を文の中で正しく使う ○録画 ○反省 ○親しむ ◎話し手や聞き手の話の中心を捉える ◎互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えを書く（記述式）	▲言葉や文を基に登場人物の行動や気持ちなどを捉える ▲文章のよいところを見つけて書く（記述式） ▲文章全体の構成や書き表し方に着目して、文章を正しく整える
支援策	・読解力を高めるために、行動や気持ちを捉える文に着目させて、感想交流を行います。 ・豊かな表現力を育むために、互いの文章を読み合い、よさを交流する活動を増やします。 ・主述の整った文や筋の通った文章が書けるように、学年に応じて繰り返し指導します。

算 数



特に正答率の高かった設問	特に正答率の低かった設問
◎除法で求められる理由を書く（記述式） ・カップケーキ7個分の値段が1470÷3で求められる理由 ◎表に入る数を求める式と答えを書く ◎長方形やひし形の特徴を捉えて、それぞれ正しい辺の長さやかきかたを選ぶ	▲目的に応じて見積りの仕方を考える ・85×21の答えが1470より必ず大きくなると分かる概数の計算は？ ▲数量が変わっても割合はかわらないことを選ぶ ・果汁が含まれている飲み物の量を半分にすると果汁の割合は変わる？ ▲正三角形の特徴を捉えて、かきかたを考える
支援策	・考え方やわけを説明し合う活動を増やし、適切に表現できる力を伸ばします。 ・日常の生活経験と概数や割合等と関連付けて考える活動を増やし、理解を深めます。 ・つまずきが多い内容（筆算・割合・図形）はタブレット等も使い、個に応じて習熟を図ります。

理 科



特に正答率の高かった設問	特に正答率の低かった設問
◎昆虫の体のつくりが分かる ◎実験器具の名称が分かる ・メスシリンダー ◎夜の気温の変化について、他者の予想を基に、結果を表したグラフを選ぶ	▲光の性質を基に日光を当てる人の数を選ぶ ▲結果から言えることは、結果のどこを分析したものなのかを選ぶ ▲実験の結果を基に、まとめの根拠を書く
支援策	・実感や感動を伴った理解が得られるように、観察や実験を工夫して行います。 ・学びの流れ（予想・実験・結果・まとめ・考察）を日常化し、自分の考えを書く活動を増やします。 ・タブレット等も用いて、多様な意見を交流する場を増やし、科学的に考える力を伸ばします。

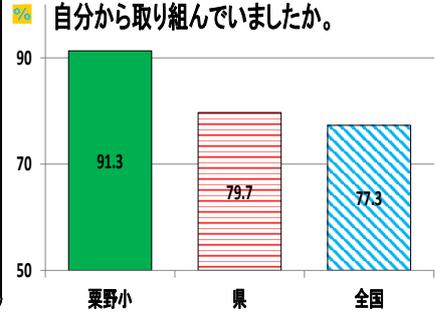
「学習状況調査」の結果から

学習状況調査では、9割以上が「学校に行くのは楽しい」と回答。「前向きに学びに向かう力」や「よりよい生活習慣」もさらに向上が見られ、確かな学力を支える両輪になっています。今後も、個性豊かに、明るくたくましくみんなで伸びる栗野っ子の育成をめざします。

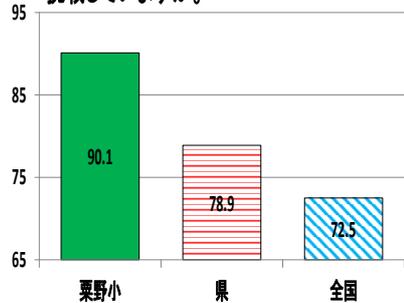
ポジティブに学びに向かう力がアップ!

どの教科でも「好き・大切だ・よく分かる・将来役に立つ」と回答する児童が、全国・県を大きく上回っています。また、「自分にはよいところがある」と回答する児童も9割を超え、一人一人の自己肯定感や学びへのポジティブさが育っていると感じました。「5年生までに受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっていた」「先生はよいところを認めてくれている」と回答する児童も大変多く、教師との信頼関係が前向きな学びの土台となっていることが伺えました。今後も一人一台タブレットを活用し、「学び合う楽しさ」や「個に応じた指導」の充実に努めます。

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。



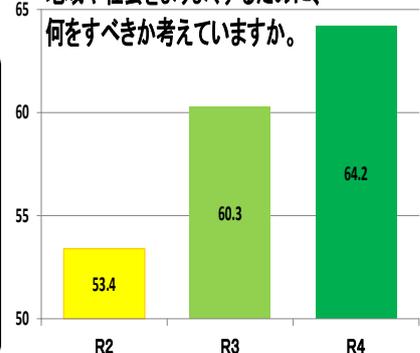
チャレンジ精神と粘り強さもアップ!

「人が困っているときは助けている」「友達と協力するのが楽しい」そして、「いじめはどんなことがあってもいけない」という心が育っています。また、「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている」「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」と粘り強さにも向上が見られました。道徳をはじめ、色々な授業で友達と話し合うことにも積極的で、自分とは違う多様な意見について考えることが、子どもたちの豊かな情操や道徳心を育む土台となっていることがわかりました。これからも一人一人の悩みや弱さにも寄り添いながら、しなやかにたくましく生きる力を育てていきます。

栗野の絆・ふるさと愛も年々アップ!

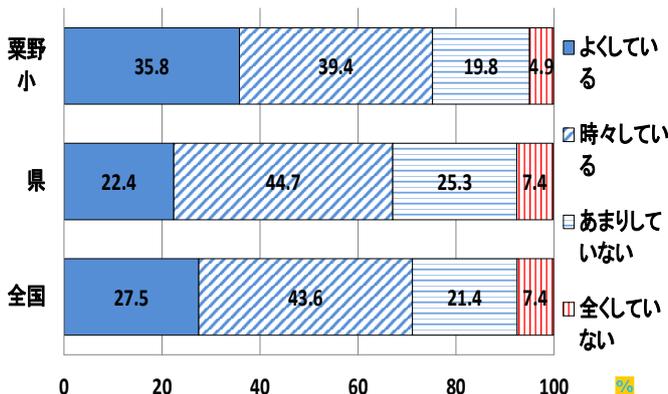
今年度も「地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答する児童が全国・県を大きく上回っています。また、「地域の大人に授業や放課後等に、勉強やスポーツを教えてもらったり遊んでもらったりする」と回答する児童が半分近くおり、家族や地域の方との温かな絆から「地域を大切に思う栗野っ子」が確実に育っていると感じます。これからも、コロナ禍で制約の多い中ではありますが、家庭や地域の人とつながり、栗野のよさを実感できる「ふるさと学習」を工夫していきます。

地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えていますか。



家庭でも読書・学習・遊びや団らんをバランスよく!

家で自分で計画を立てて、勉強をしていますか。



以前から本校の課題であった家庭での読書時間が30分以上、読書が好きと答える児童が8割を超えました。また、「ゲームやインターネット(SNSや動画等)の視聴時間」もやや減り、家庭での過ごし方に改善が見られました。おうちの方のご支援ご協力のおかげです。一方、平日の家庭学習の時間は1時間より短い子が多く、全国より短い傾向です。今後も健康被害(視力低下・運動不足)やトラブル(いじめ等)、学習意欲減退(ゲーム等依存症)につながらないように、ご家庭での過ごし方について、アドバイスやご支援をよろしく願います。